

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽乳業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三原市南方一丁目2番1号

(3) 業種

処理牛乳・乳飲料製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、2017年度（平成29年）を基準年度とし、2024年度（令和6年）から2028年度（令和10年）までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は地球環境保全を経営の行動基準とし、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負担の低減を推進する事により、持続可能な社会づくりに貢献します。地球温暖化防止については省エネルギー活動を推進し、温室効果ガスの排出抑制に努めます。

2. 方針

省エネルギーの推進

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成29 ( 2017 ) 年度	令和5 ( 2023 ) 年度
二酸化炭素	6,852	5,015

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 ( ) 年度)		削減目標		目標年度 (令和 ( ) 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100      削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

製造量牛乳換算(t)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成29 ( 2017 ) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和10 ( 2028 ) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	6,852	109,992	0.06	33.3	4,764	110,000	0.04
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	6,852	109,992	0.06				
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	-	-	0.0278	29.9	-	-	0.0195
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は2017年度排出量ベース年1%の削減を目標とする。 2023年度CO <sub>2</sub> 排出量5,015 × 95% = 4,764 (原単位0.046 → 0.043)						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100      原単位(c) = (a) / (b)      原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	CO <sub>2</sub> フリー電気導入によるCO <sub>2</sub> 削減	一部CO <sub>2</sub> 削減率5%削減	中国電力の再エネ特約 CO <sub>2</sub> フリー電気導入によるCO <sub>2</sub> 削減
2	燃料使用量削減	原油換算 18KL/年削減	ドレン回収装置設置、殺菌機等の保温
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

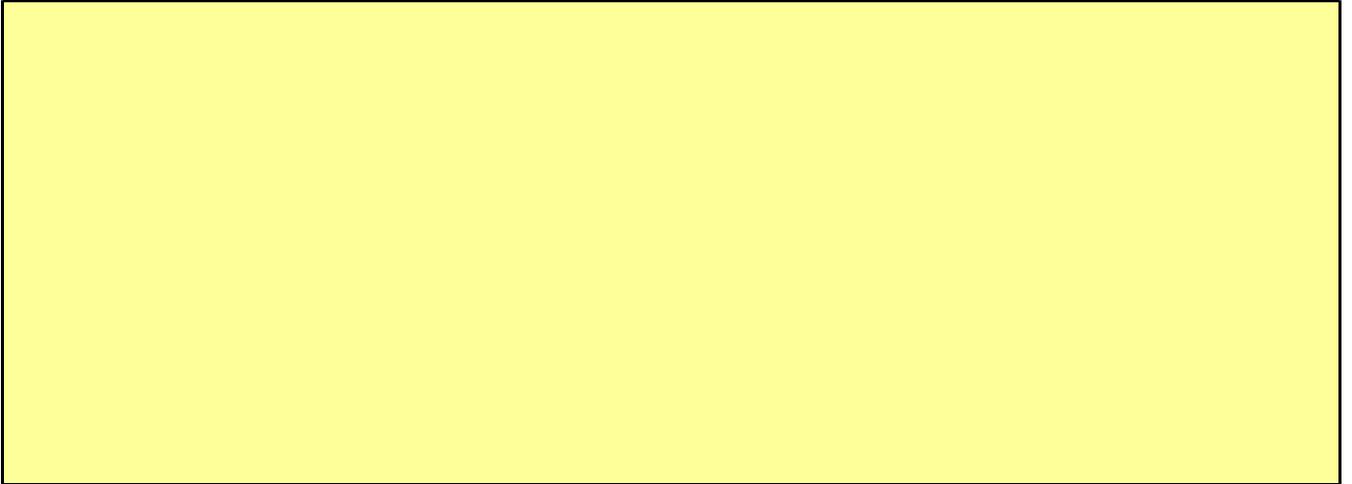
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

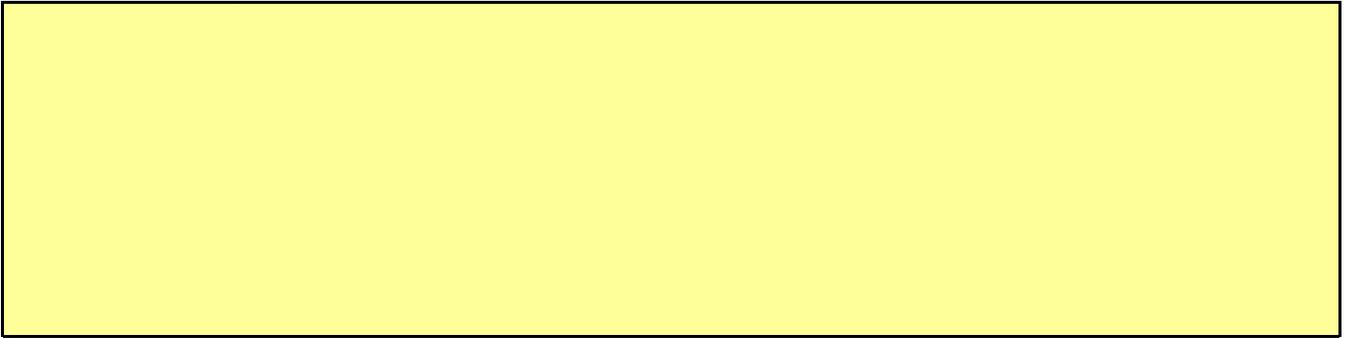
※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価



(3) 計画書等の公表

